

箕輪町・人口ビジョン

長野県箕輪町

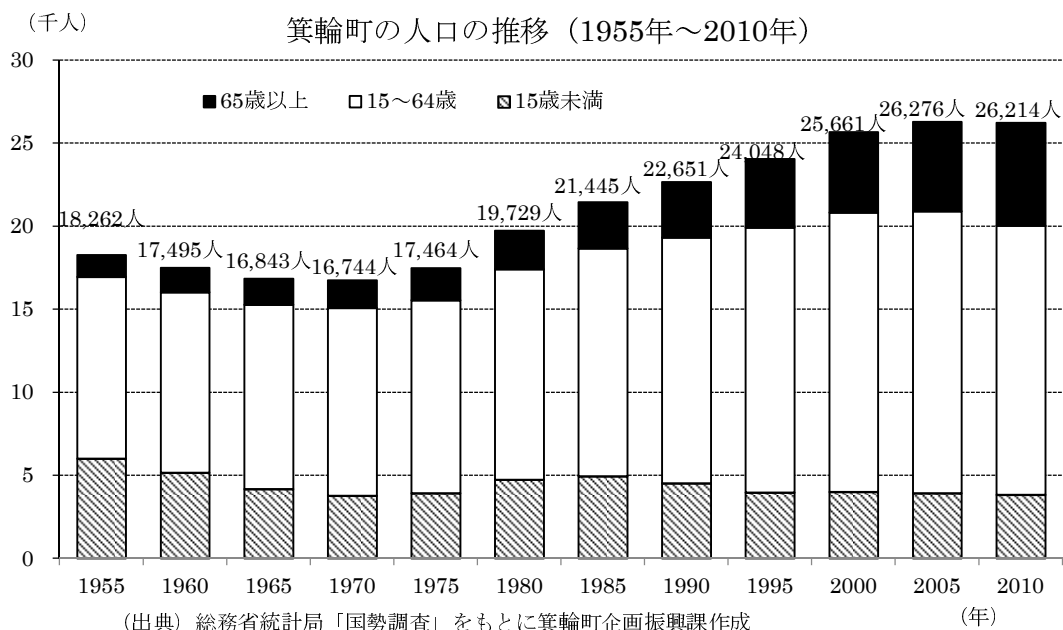
2015/09/17



I 人口の現状分析

町人口の増減から見える課題

I-1 これまでの町人口の推移



I-2 1980～2010年に大幅な人口増加を達成

郡内市町村等の人口増加率(1980年～2010年)

市町村名	1980年 (人)	2010年 (人)	増加率 (%)
上伊那郡	167,262	181,428	8.5
伊那市	67,544	71,093	5.3
駒ヶ根市	31,179	33,693	8.1
辰野町	23,894	20,909	△ 12.5
箕輪町	19,729	26,214	32.9
飯島町	10,515	9,902	△ 5.8
南箕輪村	8,877	14,543	63.8
中川村	5,524	5,074	△ 8.1
宮田村	7,582	8,974	18.4
下諏訪町	26,574	21,532	△ 19.0

(出典) 総務省「国勢調査」をもとに箕輪町企画振興課作成。

県内市町村の順位別人口増加率(1980年～2010年)

順位	市町村名	1980年 (人)	2010年 (人)	増加率 (%)
1	南箕輪村	8,877	14,543	63.8
2	山形村	5,578	8,425	51.0
3	御代田町	9,851	14,738	49.6
4	松川村	7,496	10,093	34.6
5	軽井沢町	14,195	19,018	34.0
6	箕輪町	19,729	26,214	32.9
7	白馬村	7,131	9,205	29.1
8	茅野市	43,942	56,391	28.3
9	安曇野市	75,209	96,479	28.3
10	原村	6,125	7,573	23.6
参考	日本	117,060,396	128,057,352	9.4
	長野県	2,083,934	2,152,449	3.3

箕輪町の1980～2010年の人口増加率は32.9%。

この増加率は、上伊那郡内では南箕輪村とともに顕著で、県内でも第6位。

I-3 人口増加率は2000年以降鈍化 2010年は減少に転向

箕輪町と他市町村等との人口増減率の5年ごとの比較(1980年～2010年)

(単位: %)

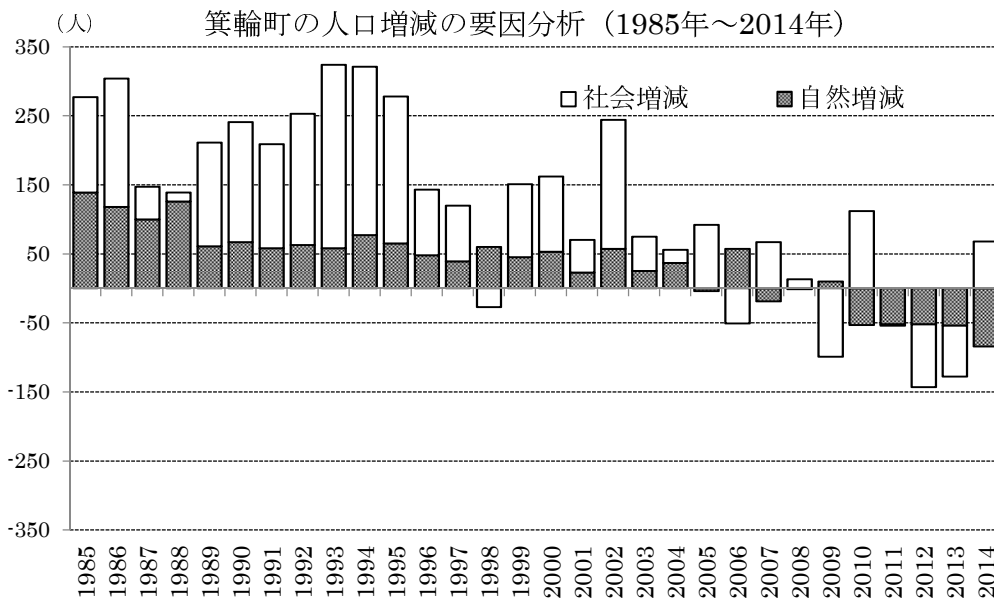
	箕輪町	日本	長野県	辰野町	飯島町	南箕輪村	中川村	伊那市	駒ヶ根市	宮田村	下諏訪町
1980-1985	8.70	3.41	2.54	0.17	1.81	11.64	0.98	3.85	3.90	4.17	△ 0.03
1985-1990	5.62	2.12	0.92	△ 0.14	0.90	7.63	△ 1.08	0.67	1.16	△ 0.05	△ 3.94
1990-1995	6.17	1.58	1.73	△ 2.96	1.74	13.75	△ 0.07	2.28	2.53	2.65	△ 3.86
1995-2000	6.71	1.08	0.97	△ 3.39	△ 0.86	10.48	△ 0.71	△ 0.94	2.19	7.27	△ 2.47
2000-2005	2.40	0.66	△ 0.86	△ 2.70	△ 2.98	1.61	△ 3.87	0.33	0.23	3.18	△ 4.46
2005-2010	△ 0.24	0.23	△ 1.99	△ 4.09	△ 6.32	6.78	△ 3.59	△ 0.98	△ 2.10	0.07	△ 5.82

(出典)総務省統計局「国勢調査」をもとに箕輪町企画振興課作成

(注) 箕輪町より増加率の高い箇所の数字を白抜きとした。

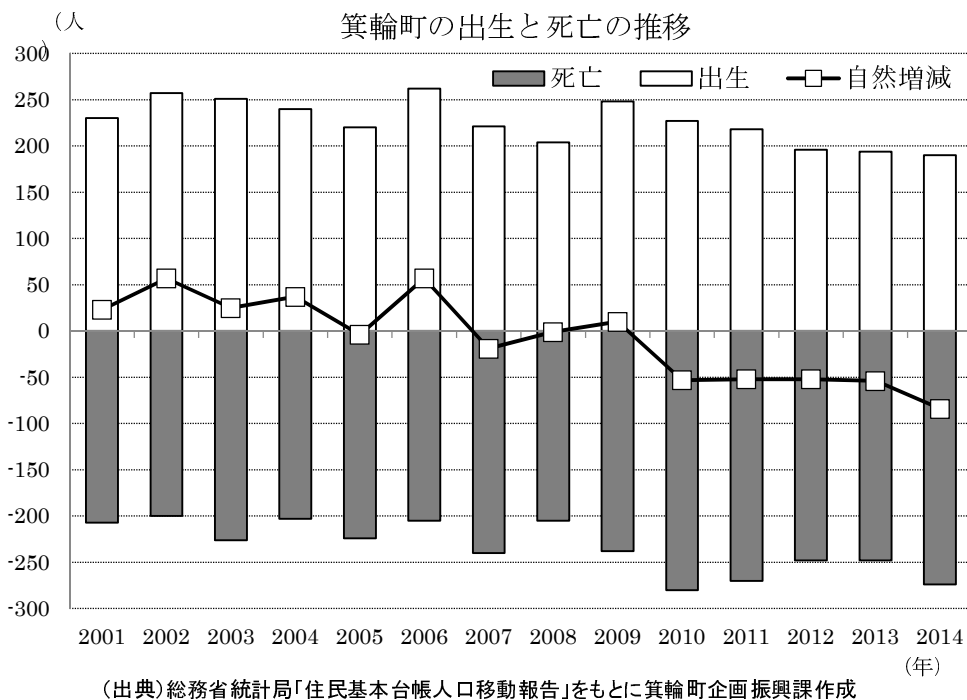
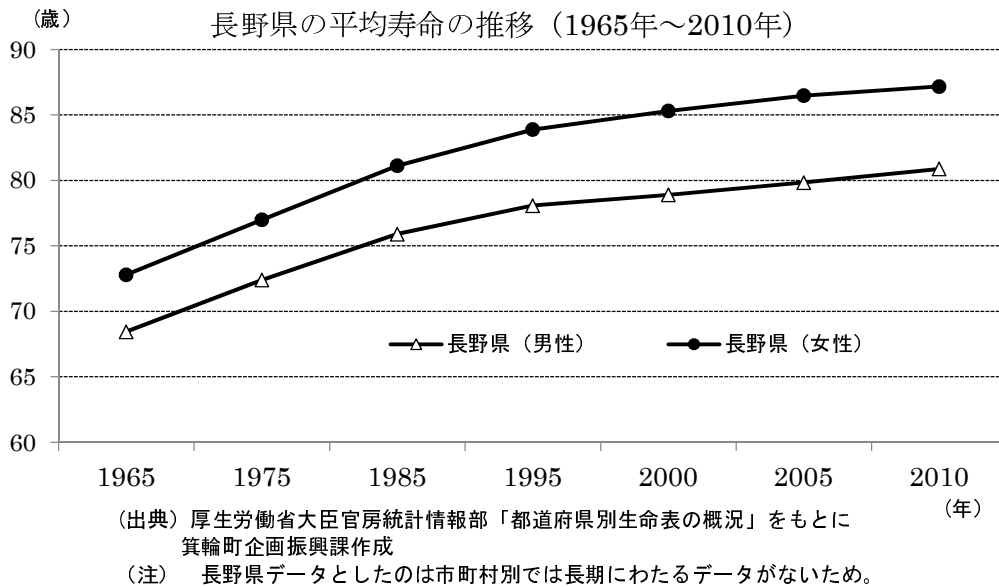
5年ごとの増加率をみると2000年まで5.0%以上を達成。
2005～2010年の期間は減少に転じる。

I-4 1990年代は転入超過 2010年から自然減が本格化



箕輪町では1985～1995年に転入者が転出者を上回る社会増を達成。
2010年から死亡が出生を上回る自然減。本格的な人口減少に移行。

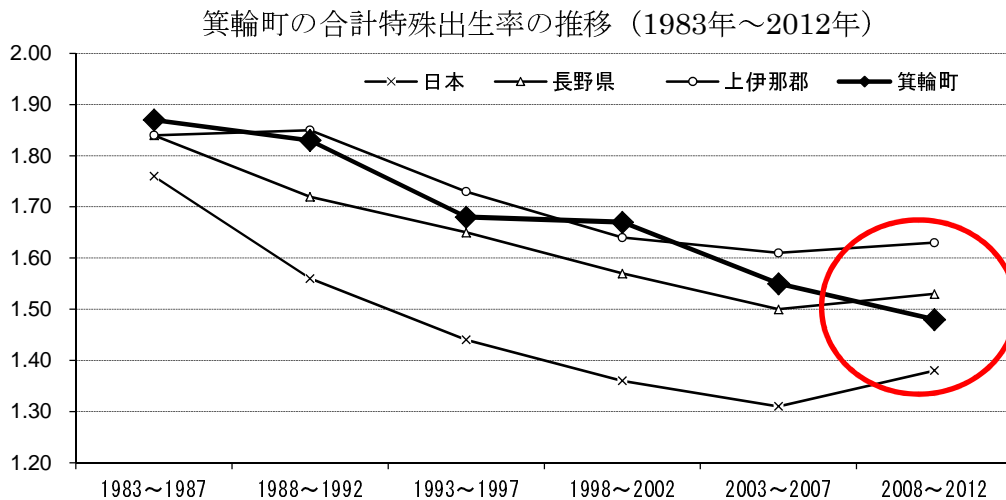
I-5 平均寿命は限界か 今後は死亡者が増加



4で示した1985～1990年頃の自然増加は、合計特殊出生率が低下していても、平均寿命が伸びて死亡者が少なかったことが要因。

高齢者が多いため、今後は寿命を迎えて死亡する者の増加が見込まれる。

I-6 低下を続けた箕輪町の合計特殊出生率



（出典）厚生労働省「人口動態統計特別調査報告」をもとに箕輪町企画振興課作成。

（年）

2008～2012 年の合計特殊出生率は、日本、長野県、上伊那郡で上昇に転じているなか、箕輪町は低下した。

I-7 箕輪町では 34 歳以下の出生率が低下

母の年齢階級別出生率（女性人口千対、ベイズ推定値）

箕輪町

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
1998～2002	3.2	46.4	121.8	119.6	37.4	4.4	0.1
2003～2007	5.6	42.6	100.8	107.7	48.1	5.9	0.1
2008～2012	3.1	29.1	97.9	103.4	51.8	10.2	0.3

長野県

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
1998～2002	4.1	44.2	111.5	111.8	37.3	4.5	0.1
2003～2007	3.8	38.8	99.4	105.4	49.4	8.9	0.2
2008～2012	3.8	38.8	99.4	105.4	49.4	8.9	0.2

上伊那郡

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
1998～2002	3.9	45.0	120.5	117.7	36.8	4.4	0.1
2003～2007	4.4	44.8	111.9	108.5	46.6	5.1	0.1
2008～2012	3.4	39.5	111.5	110.6	51.2	9.0	0.2

（出典）厚生労働省「人口動態統計特別調査報告」をもとに箕輪町企画振興課作成。

（注） 箕輪町のデータ中、長野県・上伊那郡のデータを下回っているものを白抜きとした。

母の年齢階級別出生率をみると、2008～2012 年の箕輪町では、34 歳以下で長野県や上伊那郡より数値が低く、20～24 歳で大きく下回る。

I-8 15～29歳女性人口の減少に合わせ出生数も減少

箕輪町の出産年齢別人口と出生数の推移

	15～29歳		30～39歳		40～49歳	
	女性人口 (人)	出生数 (人)	女性人口 (人)	出生数 (人)	女性人口 (人)	出生数 (人)
1998年～2002年(a)	2,577.0	129.8	1,550.4	112.0	1,628.2	6.2
2003年～2007年(b)	2,416.2	105.0	1,787.2	132.0	1,463.0	8.4
2008年～2012年(c)	1,959.4	74.6	1,822.2	132.4	1,524.4	17.4
c-b増減率(%)	△ 18.9	△ 29.0	2.0	0.3	4.2	107.1

(出典) 箕輪町健康推進課「衛生年報」をもとに企画振興課作成

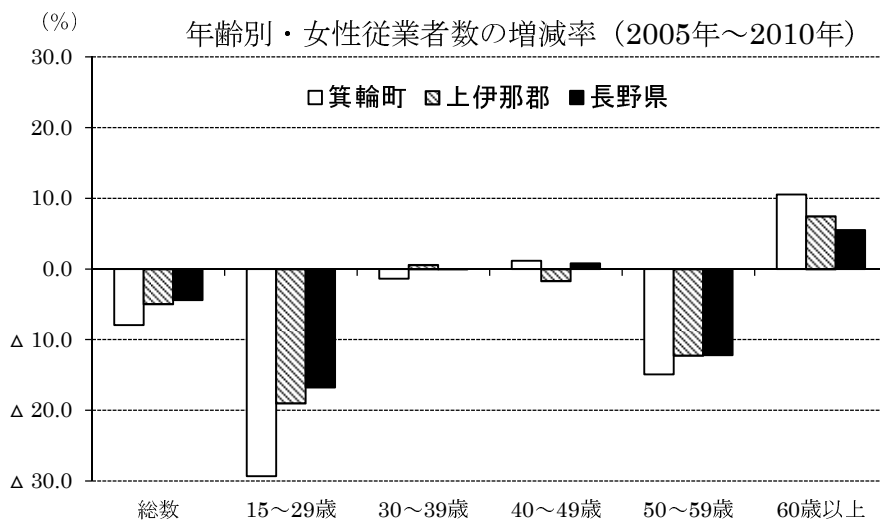
(注) a、b、cの各期間の人口数、出生数は5年間の平均値

2008～2012年に箕輪町の15～29歳の女性人口が18.9%減少。

15～29歳の女性による出生数は29.0%の減少。

15～29歳女性人口と出生数の減少は課題。

I-9 30歳未満・女性従業者数の減少が顕著

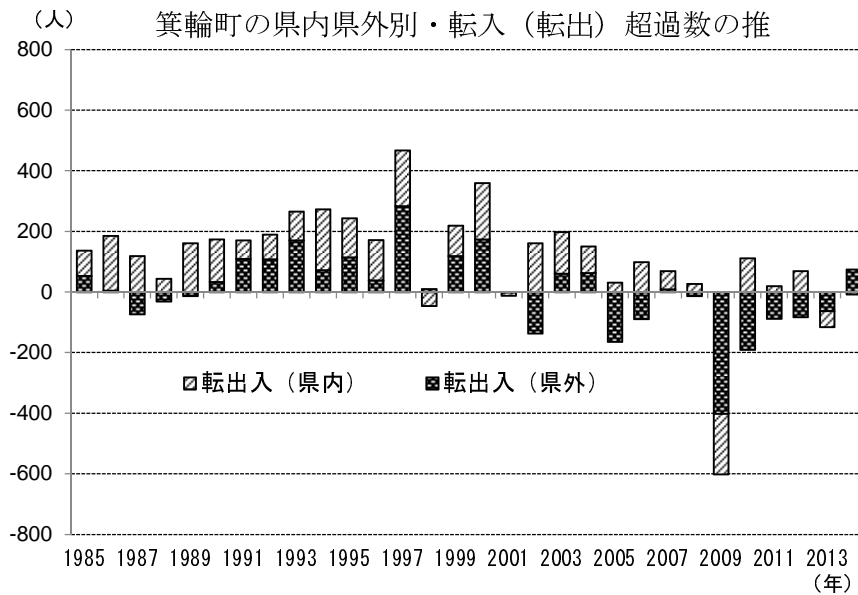


(出典) 総務省統計局「国勢調査報告」をもとに箕輪町企画振興課作成

箕輪町では2005年から2010年にかけて、リーマンショックの影響も受け、30歳未満女性従業者の減少率が、県や郡と比べて大きい。

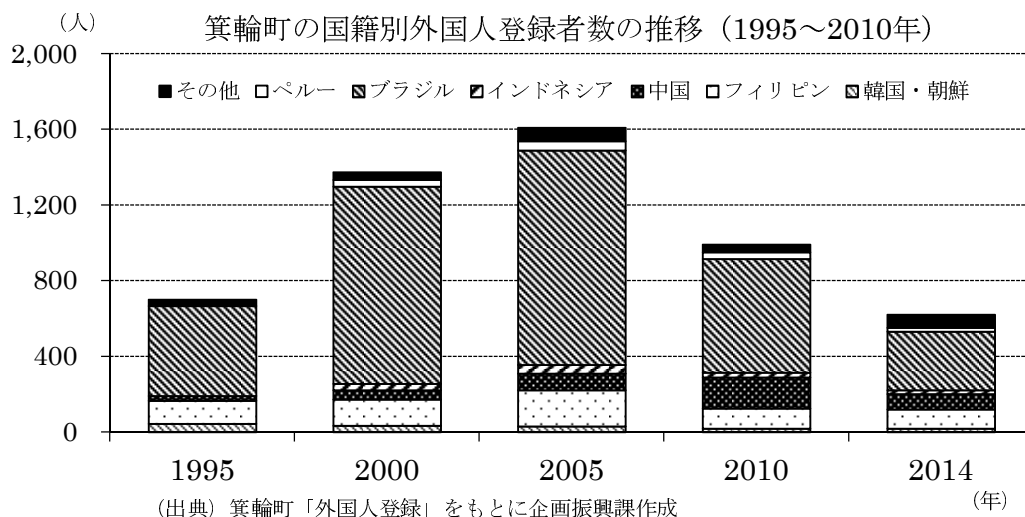
女性従業者の減少が8で述べた女性人口の減少に影響していると思われる。

I-10 リーマンショック後、5年連続で転出超過（社会減）



2008年まで転入超過が多いが、2009年から5年連続で転出超過（社会減）。箕輪町は製造業が多いため、町の転出入は2008年のリーマンショックなど景気の影響を受けやすい。

I-11 外国人も減少傾向



製造業の景気動向に左右された結果、箕輪町に多く在籍した外国人も2005年から減少。2014年の621人は1995年の701人をも下回る。

I-12 20～24 歳では県外に対して転出超過

転入-転出(2014年)

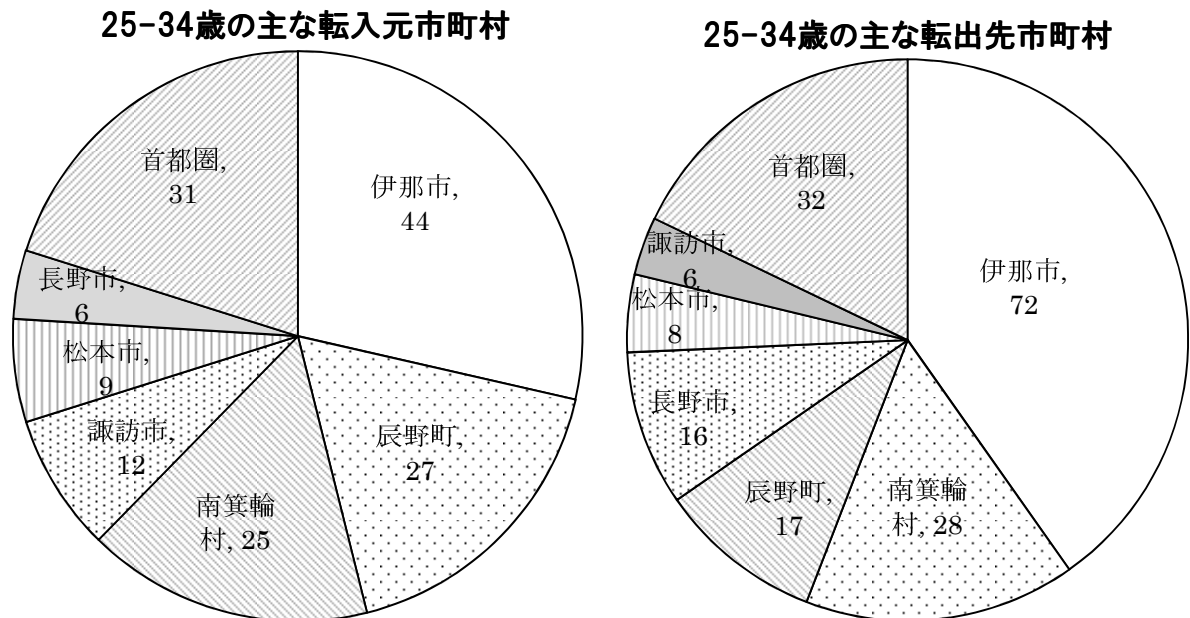
年齢	郡内	県内(郡内除く)	県外	国外	合計
0-4歳	2	△ 6	3	△ 1	△ 2
5-9歳	1	△ 4	10	3	10
10-14歳	△ 4	△ 3	△ 5	0	△ 12
15-19歳	△ 1	△ 5	△ 7	0	△ 13
20-24歳	7	△ 8	△ 31	△ 3	△ 35
25-29歳	△ 2	△ 15	3	△ 3	△ 17
30-34歳	△ 6	9	△ 6	△ 2	△ 5
35-39歳	3	△ 1	2	6	10
40-44歳	△ 1	4	3	6	12
45-49歳	△ 9	△ 6	8	2	△ 5
50-54歳	△ 5	1	△ 1	△ 1	△ 6
55-59歳	5	6	0	0	11
60-64歳	△ 3	8	5	0	10
65-69歳	4	2	0	0	6
70-74歳	△ 3	1	3	1	2
75-79歳	△ 3	2	0	0	△ 1
80-84歳	△ 5	0	△ 1	0	△ 6
85-90歳	4	0	1	0	5
90歳以上	4	0	1	0	5
合計	△ 12	△ 15	△ 12	8	△ 31

出典 箕輪町住民基本台帳を基に企画振興課作成

※ 期間は年度で、2014年4月～2015年3月。外国人の異動は含まない。

町全体では転出超過の△31人で、20～24歳の県外分の転出超過と同数。
20～24歳の転出超過のうち県外分を改善することが課題。

I-13 25~34歳は郡内市町村と転出入をやり取り



25~34歳になると郡内間の転出入が顕著。
結婚や出産を機に、親元近くへの転居などが異動の要因と考えられる。

I-14 箕輪町人口の自然増減と社会増減の課題

自然増減…町（1.48）の合計特殊出生率が郡（1.63）よりも低い

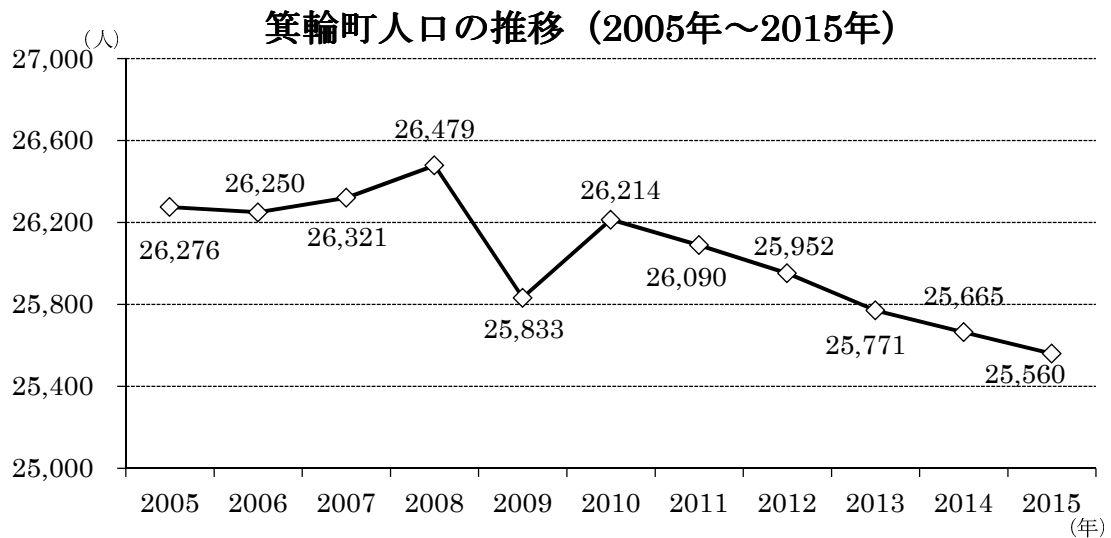
社会増減…20歳代の転出傾向

ただし死亡者数が増加するため、総人口の減少はやむを得ない。

Ⅱ 将来人口推計

将来人口の推計結果と今後の対応

Ⅱ-1 2010年以降も人口減少が続く



（出典）長野県企画振興部「長野県の年齢別人口」をもとに箕輪町企画振興課作成
 （注）2005年～2014年まで10月1日、2015年は4月1日人口

Ⅱ-2 2015年実績人口は、社人研推計を277人下回る

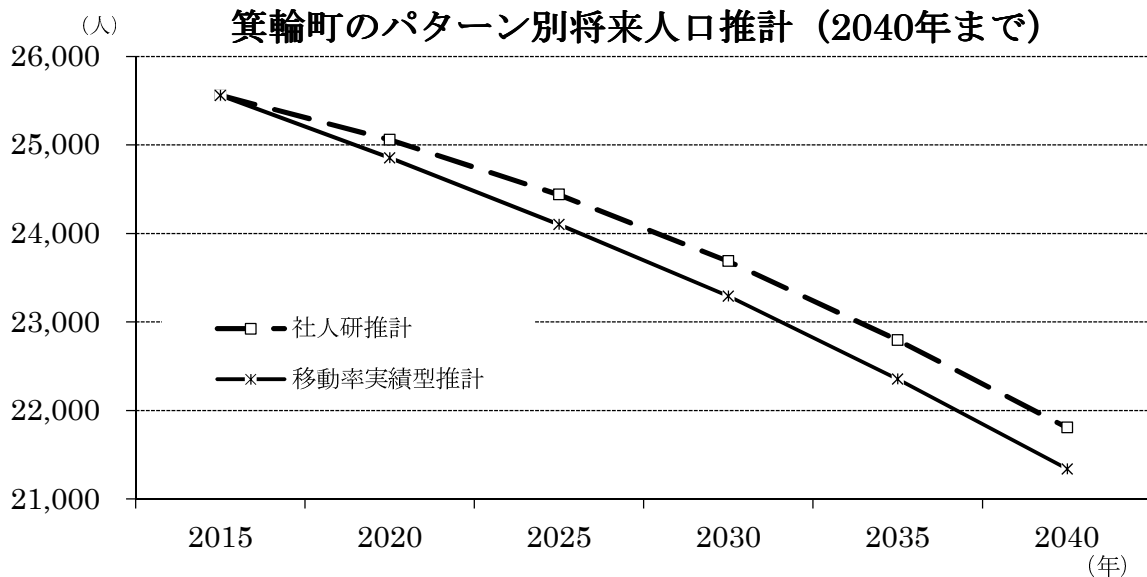
（単位：人）

	2015年				2015年		
	実績a	社人研推計b	差(a-b)		実績a	社人研推計b	差(a-b)
0～4歳	1,072	1,159	△ 87	50～54歳	1,500	1,511	△ 11
5～9歳	1,230	1,209	21	55～59歳	1,448	1,465	△ 17
10～14歳	1,306	1,253	53	60～64歳	1,733	1,650	83
15～19歳	1,233	1,213	20	65～69歳	1,938	1,942	△ 4
20～24歳	1,082	1,243	△ 161	70～74歳	1,603	1,561	42
25～29歳	1,182	1,397	△ 215	75～79歳	1,177	1,233	△ 56
30～34歳	1,417	1,352	65	80～84歳	1,023	1,062	△ 39
35～39歳	1,779	1,749	30	85～89歳	774	768	6
40～44歳	2,005	1,937	68	90歳以上	415	456	△ 41
45～49歳	1,643	1,677	△ 34				
				総数	25,560	25,837	△ 277

2015年の実績人口は、国立社会保障人口問題研究所（社人研）の推計人口を277人下回る。

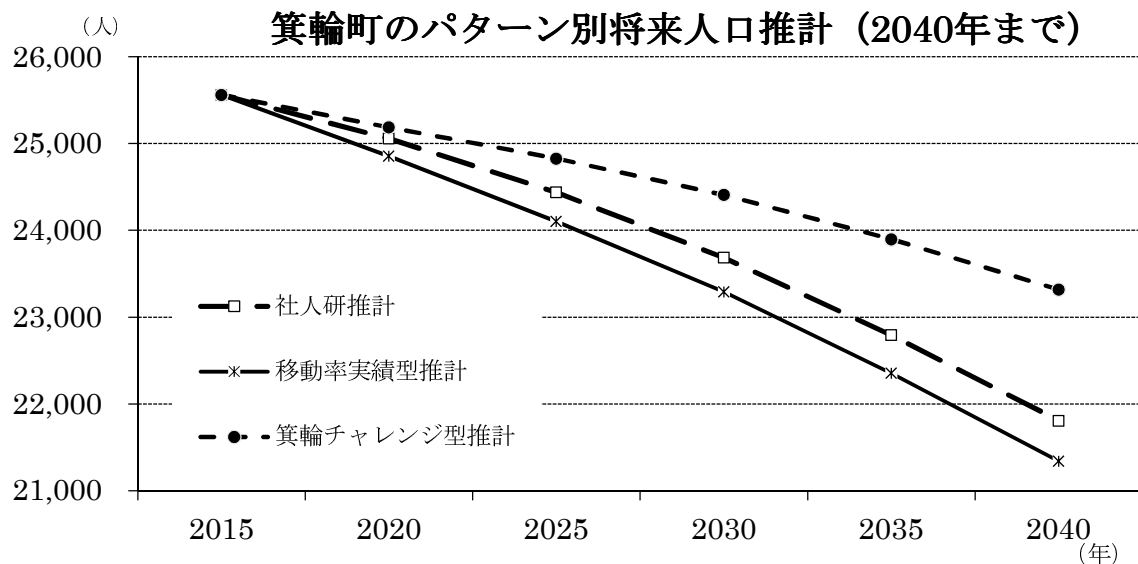
社人研推計人口と比べ実績人口は、合計特殊出生率の低さから0～4歳人口が87人減少、転出傾向の影響から20～29歳人口が376人減少。

Ⅱ-3 2010～2015年の実績を伸ばすと2025年に24,102人



2010～2015年の実績による移動率を用いて人口推計を行うと、
2025年に24,102人 2040年に21,340人。

Ⅱ-4 出生数・転入者の増加施策の実施で2025年に24,800人



箕輪チャレンジという出生数と転入者数の増加施策を行うと人口減少に歯止めをかけることも可能。2025年に24,827人 2040年に23,316人。

Ⅱ-5 2025年の24,800人には合計特殊出生率を1.80に

	2015年	2020年	2025年
合計特殊出生率	1.48 未満	1.65	1.80
年間出生数	190人	208人	218人
15～49歳女性人口	4,902人	4,757人	4,501人

2025年の合計特殊出生率1.80は国・総合戦略の期待値。
女性人口が減少するなか、出生数を増加させる必要がある。

Ⅱ-6 移住定住対策により1年で48人、10年間で480人増加

	箕輪チャレンジ型推計
現状 (a)	5～14歳転入者数：39人 20～34歳転入者数：327人 35～54歳転入者数：240人 55～64歳転入者数：46人 (出典：箕輪町「2014年住民基本台帳」)
Uターン対策 (b)	若年者：30人 子育て世帯：2世帯 8人 退職後夫婦：1夫婦 2人
Iターン対策 (c)	若年者の配偶者：2人 子育て世帯：1世帯 4人 退職後夫婦：1夫婦 2人
U+Iターン計 (b+c)	48人/年
年間希望転入者数 (a+b+c)	5～14歳転入者数：45人 20～34歳転入者数：359人 35～54歳転入者数：246人 55～64歳転入者数：50人

日本の総人口が減少し、景気動向も見通しが立たないなか、転入者を10年間で、480人増加させる必要がある。

※現状の数値に対する年間増加数をUターン・Iターン対策別、推計別に上表のとおり設定。「若年者は20～34歳」、「子育て世帯は親を35～54歳、子を5～14歳」、「退職後夫婦は55～64歳」

II-7 箕輪チャレンジで取組む施策

【第5次振興計画の目指す姿】

みんなで創る、未来につながる、暮らしやすい箕輪町
～ 人口減少時代への挑戦・箕輪チャレンジ ～

項目	対象者	施策
町の暮らしやすさを確保	全町民	<ul style="list-style-type: none"> ■美しい自然環境の継承 ■集落等のコミュニティの確保 ■徹底した安全・安心の確保 ■地域に愛着を持つ人材の育成 ■いつまでも健康に暮らせるまち ■安全で利便性の高い社会基盤
出生数の増加	子育て世帯	<ul style="list-style-type: none"> ■結婚対策 ■子育てに適したまちづくり
転入者の増加	転入者	<ul style="list-style-type: none"> ■移住定住施策の推進 ■町のブランド戦略
	若年者	<ul style="list-style-type: none"> ■働く場所の確保 ■若者に魅力のあるまちづくり ■交流の場の創出
		<ul style="list-style-type: none"> ■婚活活動の支援
		<ul style="list-style-type: none"> ■働く場所の確保 ■教育環境の充実 ■買い物等の利便性の確保
	子育て世帯	<ul style="list-style-type: none"> ■働く場所の確保 ■教育環境の充実 ■買い物等の利便性の確保
	退職者世帯	<ul style="list-style-type: none"> ■農業など都会で経験できない暮らしの提供
	転出者の抑制	転出者
<ul style="list-style-type: none"> (その他、転入者対策と重複) 		

II-8 箕輪チャレンジで、15歳未満人口・3,000人をキープ

パターン別将来人口推計の年齢別人口と割合

	2015年		2025年		2040年	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
実績人口	25,560	100.0				
0～14歳人口	3,608	14.1				
15～64歳人口	15,022	58.8				
65歳以上人口	6,930	27.1				
社人研推計			24,438	100.0	21,806	100.0
0～14歳人口			2,923	12.0	2,432	11.2
15～64歳人口			14,040	57.5	11,583	53.1
65歳以上人口			7,476	30.6	7,791	35.7
移動率実績型推計			24,102	100.0	21,340	100.0
0～14歳人口			2,960	12.3	2,530	11.9
15～64歳人口			13,983	58.0	11,470	53.7
65歳以上人口			7,158	29.7	7,340	34.4
箕輪チャレンジ型推計			24,827	100.0	23,316	100.0
0～14歳人口			3,161	12.7	3,114	13.4
15～64歳人口			14,356	57.8	12,543	53.8
65歳以上人口			7,311	29.4	7,659	32.8

II-9 2040年までにほとんどの区で人口減少

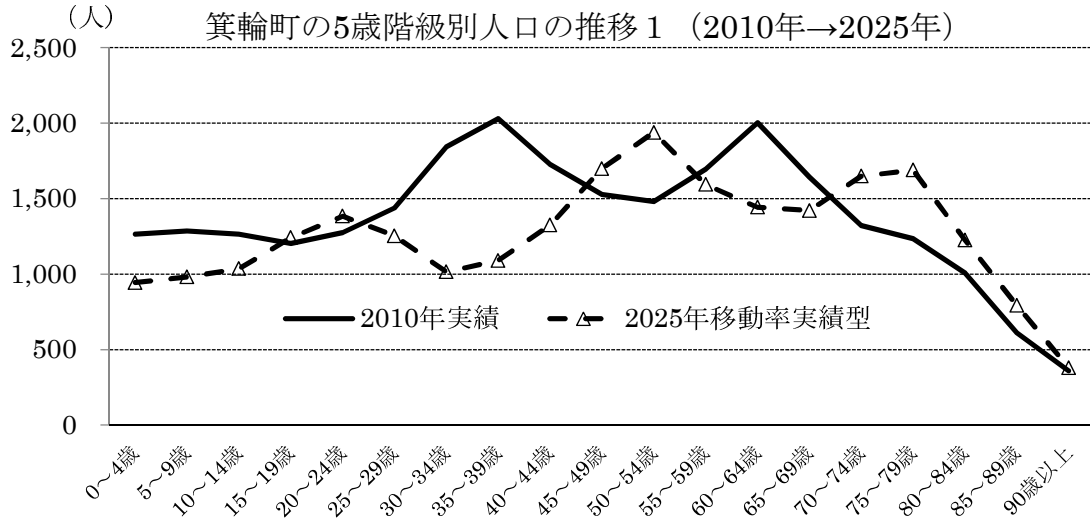
	沢区	大出区	八乙女区	下古田区	上古田区	中原区	松島区	木下区	富田区	中曽根区	三日町区	福与区	長岡区	南小河内区	北小河内区
2015年(人)	4,146	2,169	504	320	752	345	6,311	5,535	404	340	1,017	779	1,226	589	1,122
2025年・実績型推計(人)	3,918	2,206	490	270	680	351	5,994	4,999	402	324	1,082	729	1,066	542	1,046
2025-2015増減率(%)	△ 5.5	1.7	△ 2.7	△ 15.6	△ 9.6	1.8	△ 5.0	△ 9.7	△ 0.5	△ 4.5	6.4	△ 6.4	△ 13.0	△ 7.9	△ 6.7
2040年・実績型推計(人)	3,404	2,098	452	203	565	337	5,595	4,145	358	306	1,025	653	855	430	917
2040-2015増減率(%)	△ 17.9	△ 3.3	△ 10.4	△ 36.6	△ 24.9	△ 2.2	△ 11.4	△ 25.1	△ 11.4	△ 10.0	0.7	△ 16.2	△ 30.3	△ 27.0	△ 18.3

2010年から2015年までの各区の人口増減率をもとに人口推計

2025年では大出、中原、三日町区で人口増加。三日町区は2040年まで増。

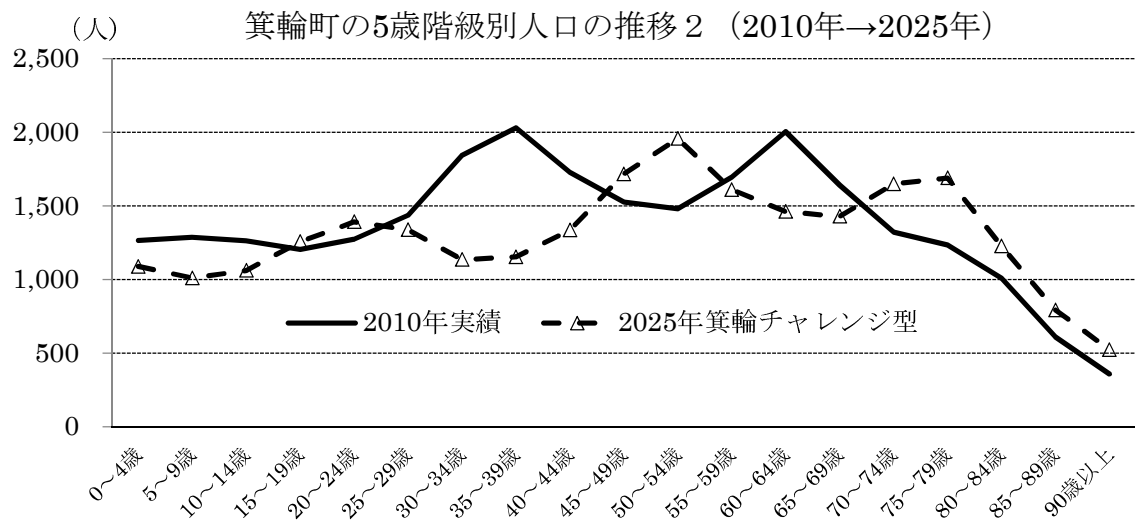
その他の区は人口減少で2040年までに下古田区で36.6%、長岡区で30.3%と3割以上の減少。

II-10 移動率実績型推計で 2025 年までに 1,550 人減少



移動率実績型推計の場合、2010年と比べ2025年は 15歳未満で850人減少、30～44歳で2,100人減少、70歳以上で1,200人増加

II-11 箕輪チャレンジ型推計で 2025 年までに 730 人の減少



箕輪チャレンジ型推計で、2010年と比べ2025年は 15歳未満で650人減少、30～44歳で2,000人減少、70歳以上で1,350人増加

II-12 あと10年で、15歳未満は減少 70歳以上は増加

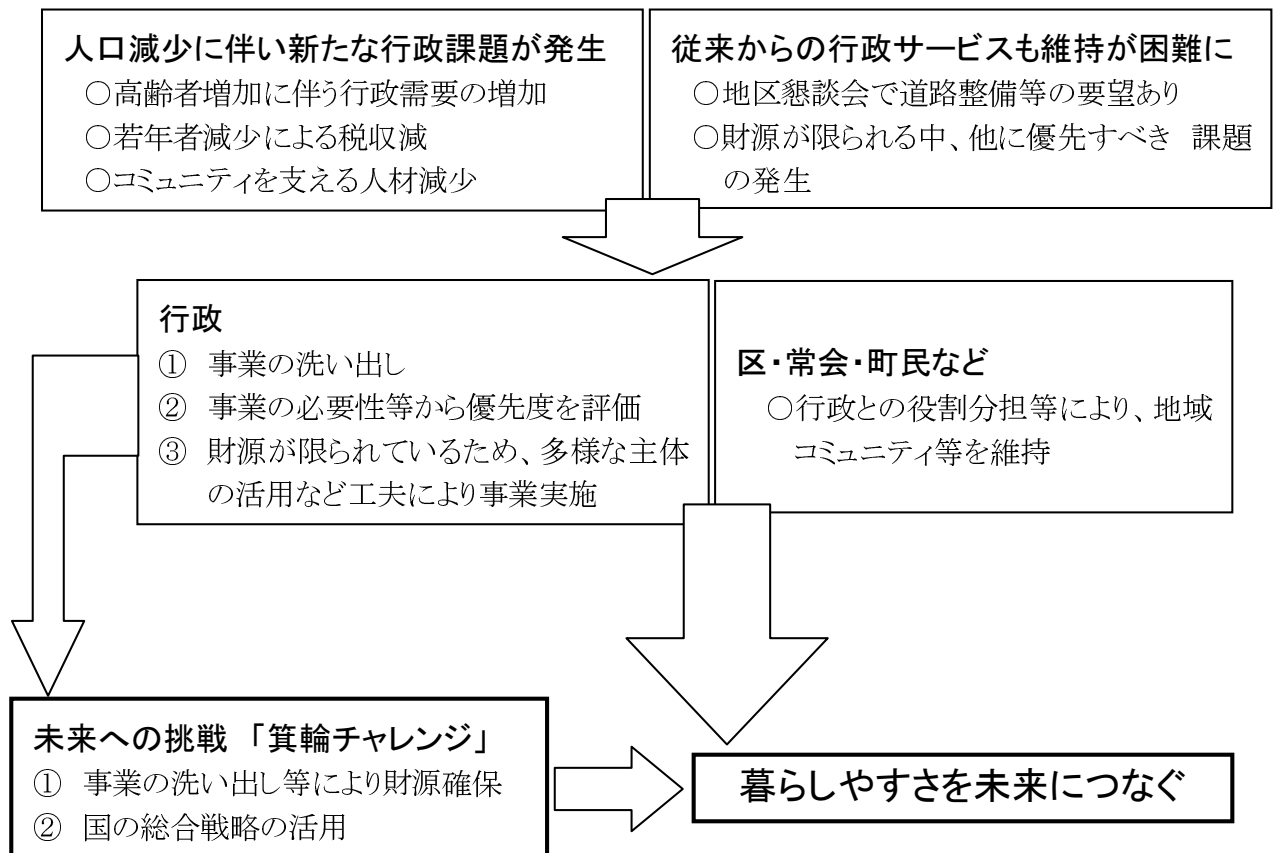
15歳未満人口が800人も減ってしまうと、学校・保育園の統合も課題になりうる。

一方で70歳以上人口は増加するため、新たな対応を求められる。

ただし30～44歳人口が2,000人も減るため、税収減は不可避。

II-13 これからのまちづくりは、施策の取捨選択が必要

今までと同じ方法では、未来に暮らしやすさをつなげることは困難



Ⅲ 人口ビジョン関連資料

箕輪町少子化対策 町民意識調査（17歳）

報告書

（平成26年11月6日～12月9日調査）

一部引用

箕輪町での暮らし

「一度は町外、いずれ帰りたい」47%

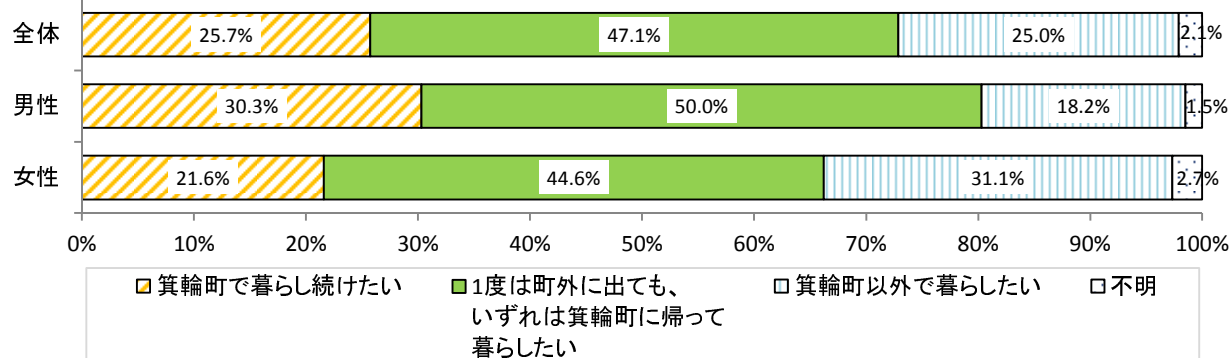
今後も箕輪町で暮らし続けたいか聞いた。「1度は町外に出ても、いずれ箕輪町に帰って暮らしたい」が半数近い47%で男女差はあまりない。

しかし「箕輪町で暮らし続けたい」は男性30%、女性22%、「箕輪町外で暮らしたい」は女性31%に対し男性18%と、女性の方が町外志向が強い。

ただ「暮らし続けたい」と「いずれは帰りたい」を合わせると全体では7割以上が箕輪町での暮らしを望んでいる。

20歳～39歳の「箕輪町に住み続けたい」7割超に通ずる。

◆ 性別では



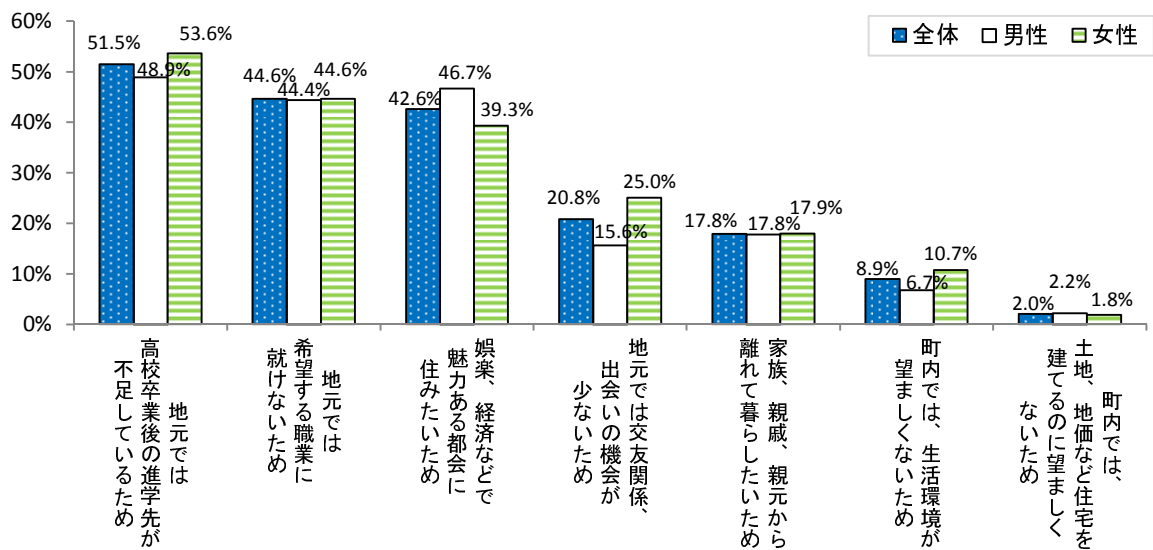
町外で暮らしたい理由

「高卒後の進学先が不足」52%

町外で暮らしてみたいと答えた101人にその理由（3つ以内）を聞いた。

「地元では高校卒業後の進学先が不足しているため」52%、「地元では希望する職業に就けないため」45%、「娯楽、経済などで魅力ある都会に住みたいため」43%が上位3項目で、他とは20ポイント以上開いた。

若者が町内から出ていく理由として20歳～39歳が指摘した上位項目と同じだが、高校生は目前に迫る進学先、就職先に関心が強く、「魅力ある都会」は3番目に置かれた。

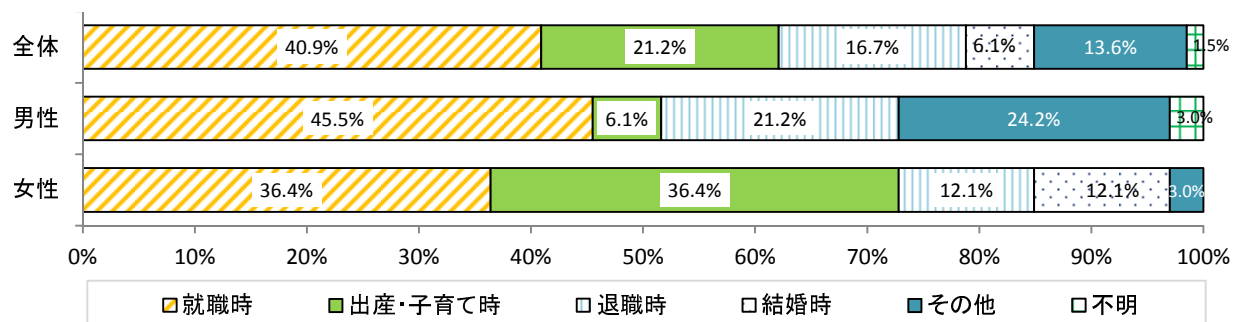


箕輪町に帰って来たい時期

就職時が4割

「1度は町外に出ても、いずれは箕輪町に帰って暮らしたい」と答えた人に、それはいつか聞いた。

全体では「就職時」が41%、「出産・子育て時」21%、「退職時」17%の順だが男女差が大きい。男性は「就職時」に次ぎ「退職時」だが、女性は「就職時」と「出産・子育て時」が36%で並び、「結婚時」と「退職時」も12%だった。



箕輪町少子化対策 町民意識調査 (20~39 歳)

報告書

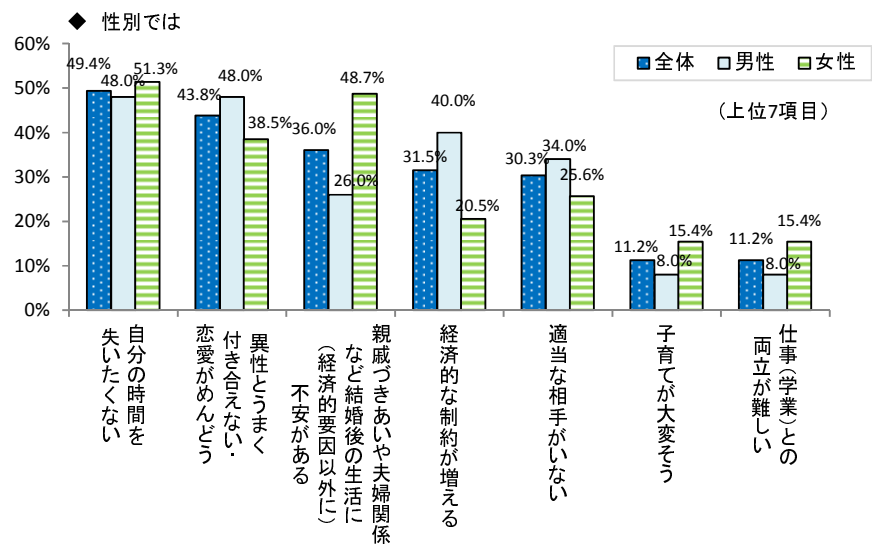
(平成 26 年 11 月 6 日~12 月 9 日調査)

一部引用

結婚したいと思わない理由

「自分の時間を失いたくない」

問1で「結婚したいと思わない」人(6% = 89人)に聞いたその理由(3つ以内)は「自分の時間を失いたくない」49%、「異性とうまく付き合えない・恋愛がめんどろ」44%、「親戚づきあいや夫婦関係など結婚後の生活に不安がある」36%の順。



男性は「異性とうまく付き合えない」48%、「適切な相手いない」が34%で、いずれも女性より9ポイント程度上回る。「親戚づきあいや夫婦関係など結婚後の生活に不安」は女性49%に対し男性26%、「経済的な制約が増える」は男性40%に対し女性21%と男女差が顕著だ。

年齢によっても違いがあるが、サンプル数が少ないので参考値。

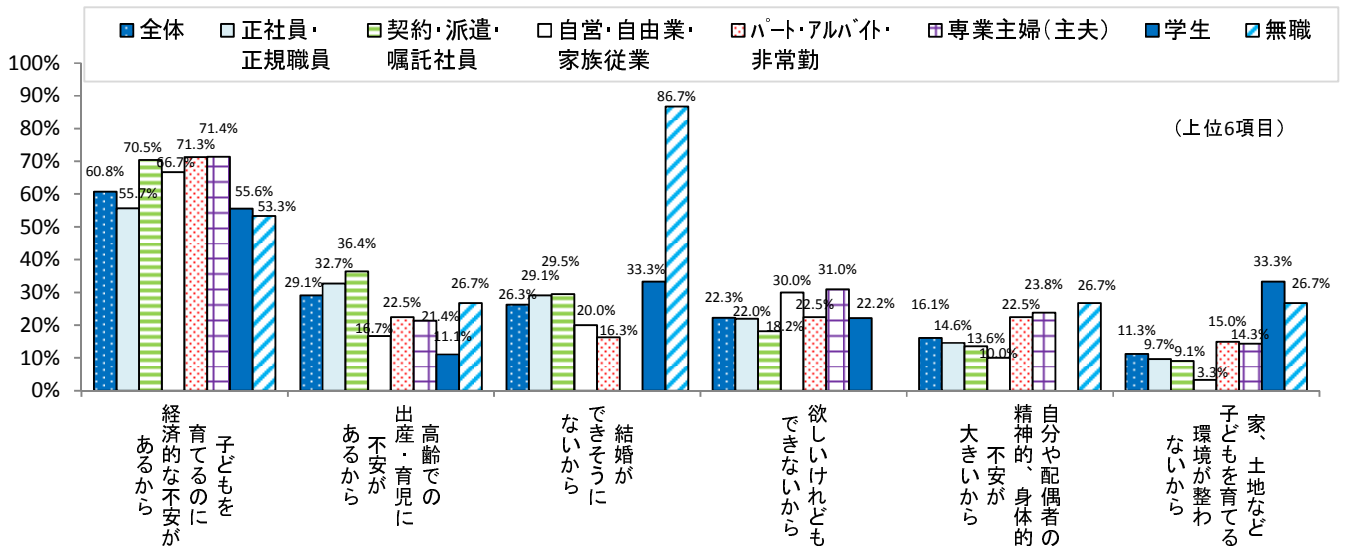
子どもは「少なく」「あきらめ」の理由

経済的な不安が6割

「理想より少なくなりそう」「子どもはあきらめている」と答えた人に聞いたその理由（該当するもの全て）は、「子どもを育てるのに経済的な不安があるから」が61%と圧倒的に多い。男女、年齢、職業を問わず1番目に挙げられ、とりわけ25～29歳、契約・派遣・嘱託社員、パート・アルバイト・非常勤、専業主婦は7割を超える高さだ。

2番目は「高齢での出産・育児に不安があるから」で女性の35%、35～39歳の39%が挙げている。「結婚ができそうにないから」は男性34%、女性21%。「欲しいけれどもできないから」は35～39歳で31%、既婚者は32%で経済的な不安に次ぎ2番目だ。

◆ 職業別では



親と近居・同居を望む理由

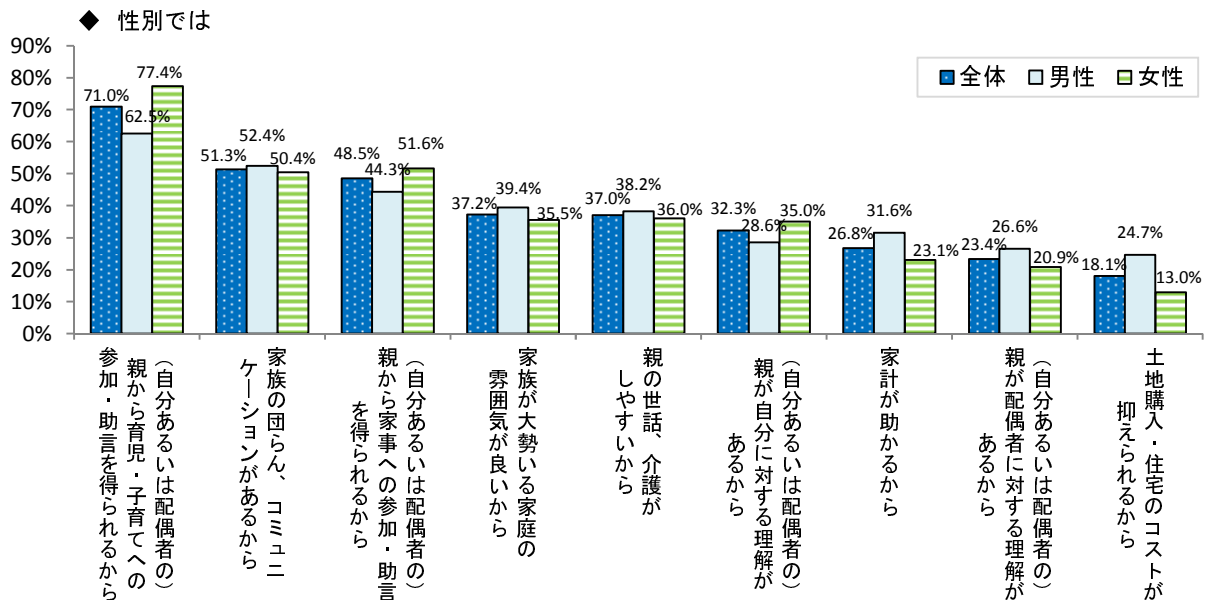
「育児への参加」7割超

「親から育児・子育てへの参加・助言が得られるから」が最も多い71%で、女性は77%に上る。家族構成が「配偶者と二人」も79%で、将来子どもが生まれた場合への期待感が表れている。

「親から家事への参加・助言を得られるから」も49%で3番目、親から生活全般への支援が、子育てには重要になっていることがうかがわれる。

家庭の情緒的な面を重視した「家族の団らん、コミュニケーションがあるから」51%と「家族が大勢いる家庭の雰囲気が良いから」37%は、2番、4番に置かれた。

親からの支援とは逆の「親の世話・介護がしやすいから」は37%で、属性による大きな違いは見られない。



箕輪町将来人口推計の推計方法

1 推計単位と推計期間

- 単位は町及び各区で、期間は 2015 年から 2040 年までの 5 年ごと

2 推計方法

- 5歳以上の年齢階級の推計においてはコーホート要因法を使用。
- コーホート要因法は、ある年の男女・年齢別人口を基準として、ここに人口動態率や移動率などの仮定値をあてはめて将来人口を計算する方法。
- 5歳以上の人口推計においては生残率と純移動率の仮定値が必要。
- 0～4歳人口の推計においては生残率と純移動率に加えて、子ども女性比及び0～4歳性比の仮定値によって推計。
- 本推計においては、①基準人口、②将来の生残率、③将来の純移動率、④将来の合計特殊出生率、⑤将来の子ども女性比、⑥将来の0～4歳性比、が必要となる。

3 基準人口

- 2015 年の箕輪町人口は国立社会保障人口問題研究所(以下「社人研」)の推計と比べ、既に乖離が生じているため、長野県企画振興部「長野県の年齢別人口」の 2015 年 4 月 1 日人口を基準人口に用いた。
- 各区の人口については、住民基本台帳の各区人口(男女別・5 歳階級別)の町に占める割合をもとに、町基準人口と一致するよう補正した数字を基準人口とした。

4 将来の生残率

- 社人研の「日本の地域別将来推計人口(2014 年 3 月推計)」で用いられた箕輪町の生残率を採用した。

5 将来の純移動率

(1)町の移動率

- 2010 年から 2015 年の男女・5 歳階級別純移動率をもとに算出。これを「移動率実績型」と呼び、2040 年まで続くと仮定した。
- 「移動率実績型」にU・Iターンの移動者数を加えて算出した移動率が「箕輪チャレンジ型」で、2040 年まで続くと仮定した。

(2) 各区の移動率

- 町と同様に 2010 年から 2015 年の各区の男女・5 歳階級別純移動率をもとに算出(「移動率実績型」)し、2040 年まで続くと仮定した。
 - 「箕輪チャレンジ型」については、区別のU・Iターン人口が想定できないため、町推計人口と一致するよう補正したものを参考値として算出した。
- ※ 「人口分析ハンドブック」(岡崎陽一著 古今書院)をもとに移動率の算出を行った。

6 将来の合計特殊出生率

- 「移動率実績型」では社人研の推計値を採用。2020 年に 1.65、2025 年以降に 1.62 となると仮定。
- 「箕輪チャレンジ型」では国の総合戦略の期待値を参考に、2020 年に 1.65、2025 年以降は 1.80 となると仮定した。
- 合計特殊出生率の考え方は町・区とも同じ。

7 将来の子ども女性比

- 社人研の仮定値を採用。社人研では、各市町村の子ども女性比には市区町村間で明らかな差が存在するため、2010 年の全国の子ども性比と各市町村の子ども女性比との較差をとり、その値を 2015 年から 2040 年まで一定として市町村ごとに仮定値を設定した。

8 将来の0～4歳性比

- 社人研の仮定値を採用。「日本の将来推計人口(2012 年 1 月推計)」(出生中位・死亡中位仮定)により算出された全国の 2015 年から 2040 年までの0～4歳性比を各年次の仮定値とした。

箕輪町将来人口推計 男女総数

(単位:人)

	2010年	2015年		2025年		
	実績	実績	社人研推計(参考)	社人研	移動率実績型	箕輪チャレンジ型
0～4歳	1,265	1,072	1,159	926	944	1,089
5～9歳	1,286	1,230	1,209	982	981	1,011
10～14歳	1,264	1,306	1,253	1,015	1,036	1,061
15～19歳	1,204	1,233	1,213	1,170	1,242	1,257
20～24歳	1,275	1,082	1,243	1,307	1,384	1,392
25～29歳	1,438	1,182	1,397	1,367	1,254	1,337
30～34歳	1,844	1,417	1,352	1,121	1,015	1,136
35～39歳	2,029	1,779	1,749	1,093	1,090	1,153
40～44歳	1,727	2,005	1,937	1,318	1,325	1,335
45～49歳	1,527	1,643	1,677	1,678	1,698	1,717
50～54歳	1,481	1,500	1,511	1,937	1,938	1,956
55～59歳	1,695	1,448	1,465	1,606	1,594	1,610
60～64歳	2,003	1,733	1,650	1,444	1,443	1,462
65～69歳	1,641	1,938	1,942	1,368	1,421	1,429
70～74歳	1,321	1,603	1,561	1,603	1,649	1,649
75～79歳	1,235	1,177	1,233	1,733	1,689	1,689
80～84歳	1,009	1,023	1,062	1,298	1,226	1,226
85～89歳	611	774	768	801	793	793
90歳以上	359	415	456	672	380	524
総数	26,214	25,560	25,837	24,438	24,102	24,827

	2040年		
	社人研	移動率実績型	箕輪チャレンジ型
0～4歳	807	844	1,059
5～9歳	808	832	1,021
10～14歳	817	854	1,035
15～19歳	852	914	1,081
20～24歳	962	1,050	1,100
25～29歳	1,093	1,055	1,151
30～34歳	1,243	1,237	1,409
35～39歳	1,302	1,227	1,385
40～44歳	1,226	1,144	1,298
45～49歳	1,021	916	1,040
50～54歳	1,022	1,043	1,119
55～59歳	1,262	1,245	1,275
60～64歳	1,602	1,639	1,684
65～69歳	1,815	1,852	1,893
70～74歳	1,456	1,510	1,534
75～79歳	1,266	1,260	1,277
80～84歳	1,090	1,076	1,082
85～89歳	1,069	1,068	1,068
90歳以上	1,095	574	804
総数	21,806	21,340	23,316

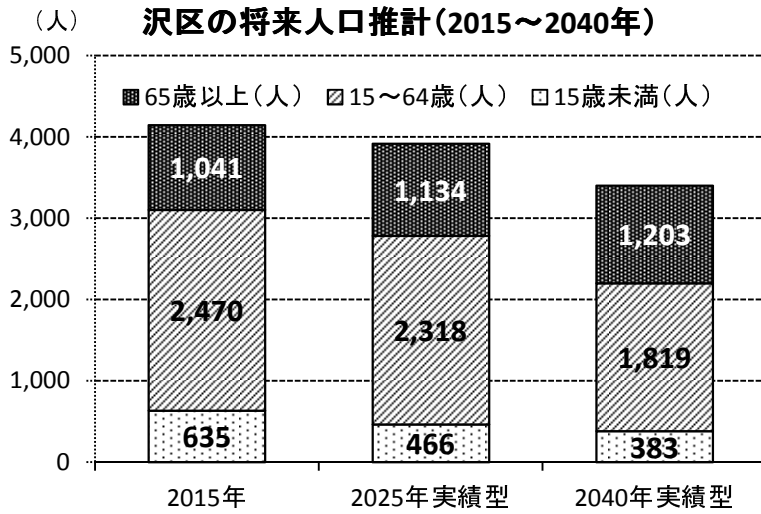
箕輪町将来人口推計のパターン別・要因別の人口増減
(2015～2025)

期間	項目	社人研推計	移動率 実績型推計	箕輪チャレンジ型 推計
2015～ 2020年	自然増減(a:出生数－死亡数)	△ 411	△ 403	△ 385
	出生数	1,015	1,023	1,041
	死亡数	1,426	1,426	1,426
	社会増減(b)	△ 92	△ 303	11
	人口増減A(a+b)	△ 503	△ 705	△ 374
2020～ 2025年	自然増減(c:出生数－死亡数)	△ 584	△ 454	△ 367
	出生数	926	944	1,089
	死亡数	1,510	1,398	1,456
	社会増減(d)	△ 35	△ 298	8
	人口増減B(c+d)	△ 619	△ 752	△ 359
2015～2025年の人口増減 (A+B)		△ 1,122	△ 1,457	△ 733

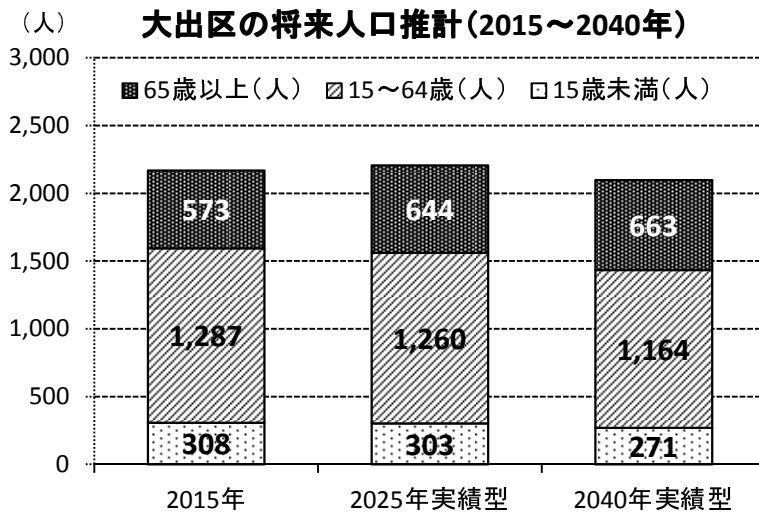
箕輪町の区別将来人口推計と人口増減率(2015～2040年)

	沢区	大出区	八乙女区	下古田区	上古田区	中原区	松島区	木下区	富田区	中曽根区	三日町区	福与区	長岡区	南小河内区	北小河内区	合計
2015年(人)	4,146	2,169	504	320	752	345	6,311	5,535	404	340	1,017	779	1,226	589	1,122	25,560
2025年・実績型推計(人)	3,918	2,206	490	270	680	351	5,994	4,999	402	324	1,082	729	1,066	542	1,046	24,102
2025-2015増減率(%)	△ 5.5	1.7	△ 2.7	△ 15.6	△ 9.6	1.8	△ 5.0	△ 9.7	△ 0.5	△ 4.5	6.4	△ 6.4	△ 13.0	△ 7.9	△ 6.7	△ 5.7
2040年・実績型推計	3,404	2,098	452	203	565	337	5,595	4,145	358	306	1,025	653	855	430	917	21,340
2040-2015増減率(%)	△ 17.9	△ 3.3	△ 10.4	△ 36.6	△ 24.9	△ 2.2	△ 11.4	△ 25.1	△ 11.4	△ 10.0	0.7	△ 16.2	△ 30.3	△ 27.0	△ 18.3	△ 16.5

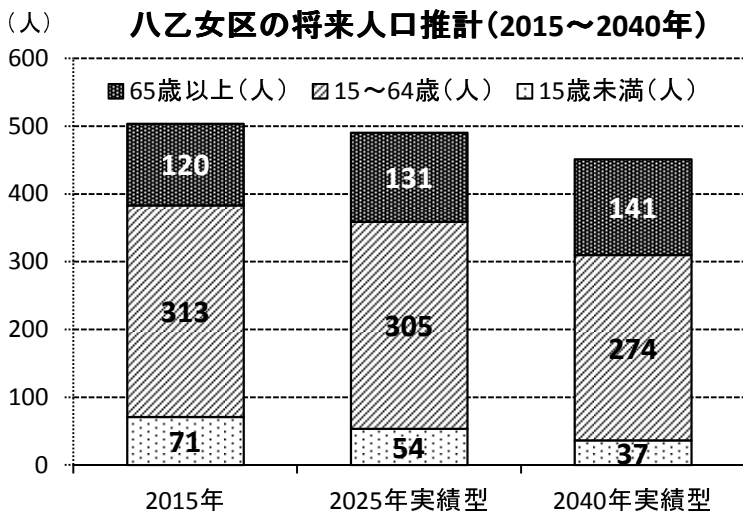
区別将来人口推計(沢、大出、八乙女)



総人口	(単位:人)
2015年	4,146
2025年実績型	3,918
2040年実績型	3,404
参考・2025年チャレンジ型	4,038
65歳以上人口割合	(単位:%)
2015年	25.1
2025年実績型	29.0
2040年実績型	35.3
参考・2025年チャレンジ型	28.7

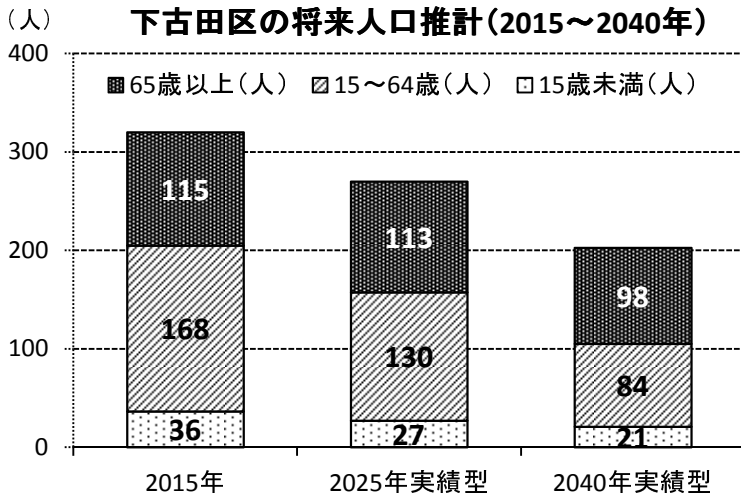


総人口	(単位:人)
2015年	2,169
2025年実績型	2,206
2040年実績型	2,098
参考・2025年チャレンジ型	2,265
65歳以上人口割合	(単位:%)
2015年	26.4
2025年実績型	29.2
2040年実績型	31.6
参考・2025年チャレンジ型	28.8

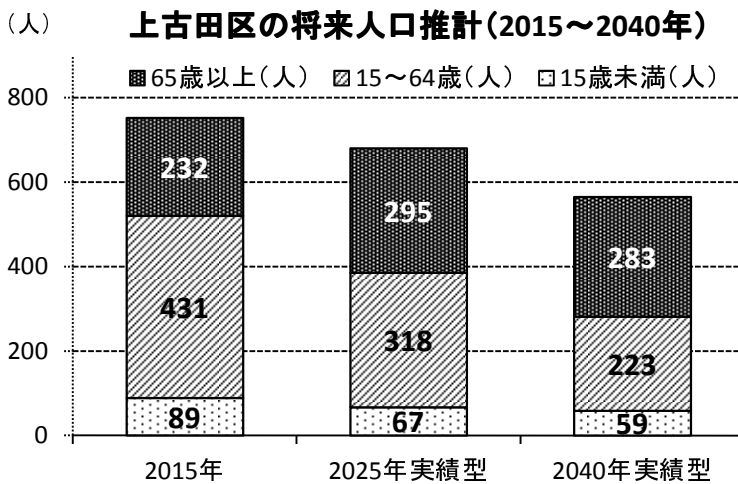


総人口	(単位:人)
2015年	504
2025年実績型	490
2040年実績型	452
参考・2025年チャレンジ型	505
65歳以上人口割合	(単位:%)
2015年	23.9
2025年実績型	26.8
2040年実績型	31.3
参考・2025年チャレンジ型	26.3

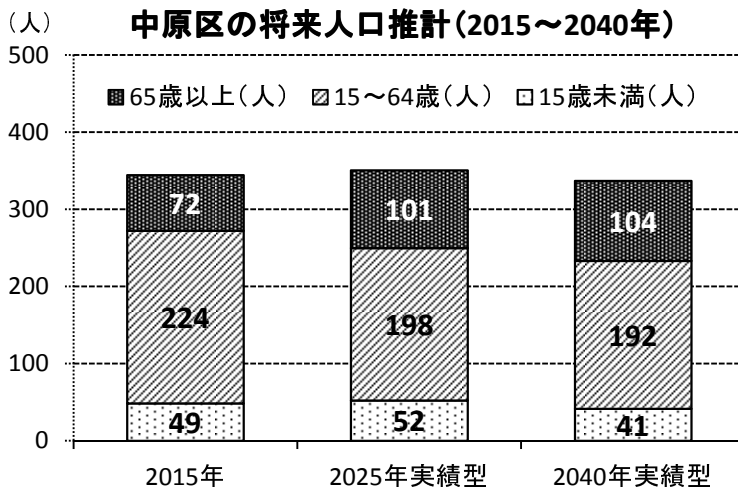
区別将来人口推計(下古田、上古田、中原)



総人口		(単位:人)
2015年		320
2025年実績型		270
2040年実績型		203
参考・2025年チャレンジ型		280
65歳以上人口割合		(単位:%)
2015年		36.0
2025年実績型		41.7
2040年実績型		48.1
参考・2025年チャレンジ型		41.9

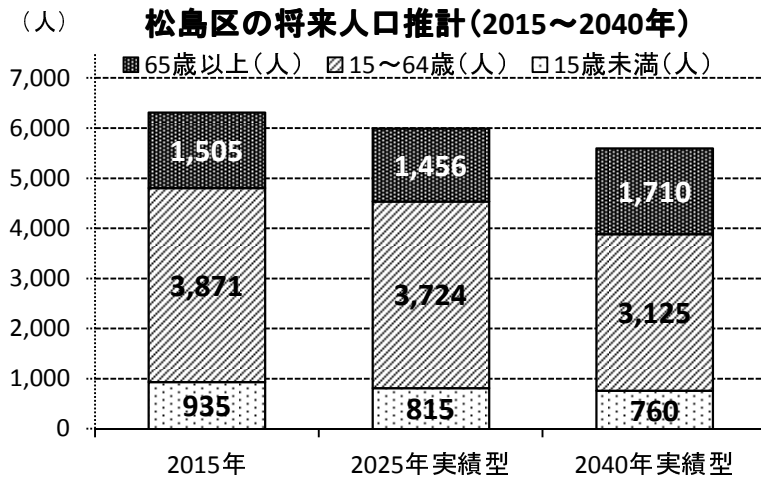


総人口		(単位:人)
2015年		752
2025年実績型		680
2040年実績型		565
参考・2025年チャレンジ型		706
65歳以上人口割合		(単位:%)
2015年		30.9
2025年実績型		43.3
2040年実績型		50.1
参考・2025年チャレンジ型		43.5

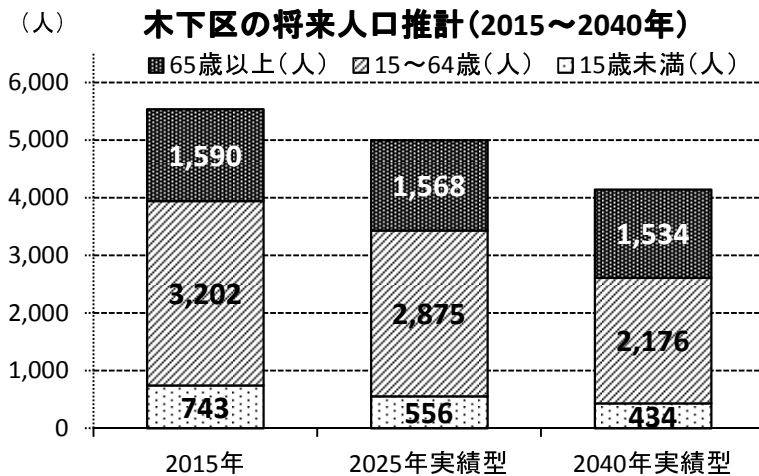


総人口		(単位:人)
2015年		345
2025年実績型		351
2040年実績型		337
参考・2025年チャレンジ型		363
65歳以上人口割合		(単位:%)
2015年		21.0
2025年実績型		28.8
2040年実績型		30.8
参考・2025年チャレンジ型		28.4

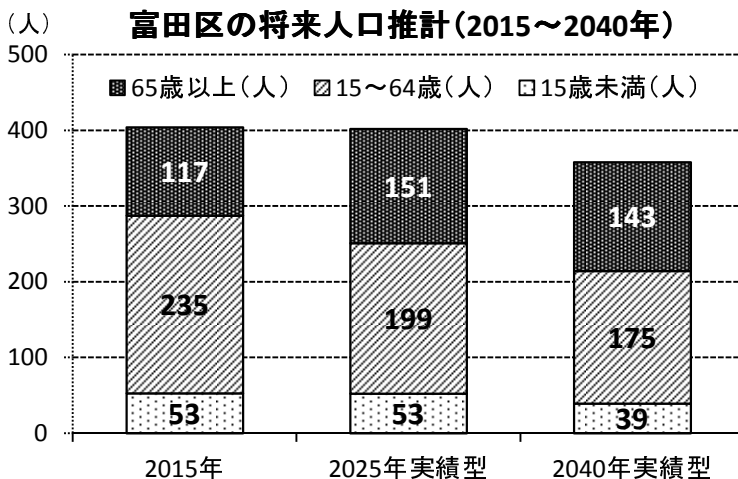
区別将来人口推計(松島、木下、富田)



総人口		(単位:人)
2015年	6,311	
2025年実績型	5,994	
2040年実績型	5,595	
参考・2025年チャレンジ型	6,161	
65歳以上人口割合		(単位:%)
2015年	23.9	
2025年実績型	24.3	
2040年実績型	30.6	
参考・2025年チャレンジ型	23.9	



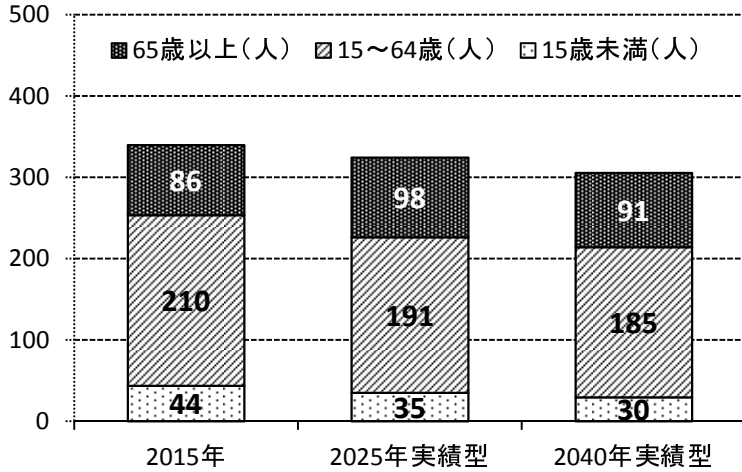
総人口		(単位:人)
2015年	5,535	
2025年実績型	4,999	
2040年実績型	4,145	
参考・2025年チャレンジ型	5,142	
65歳以上人口割合		(単位:%)
2015年	28.7	
2025年実績型	31.4	
2040年実績型	37.0	
参考・2025年チャレンジ型	31.0	



総人口		(単位:人)
2015年	404	
2025年実績型	402	
2040年実績型	358	
参考・2025年チャレンジ型	412	
65歳以上人口割合		(単位:%)
2015年	28.8	
2025年実績型	37.5	
2040年実績型	40.1	
参考・2025年チャレンジ型	37.3	

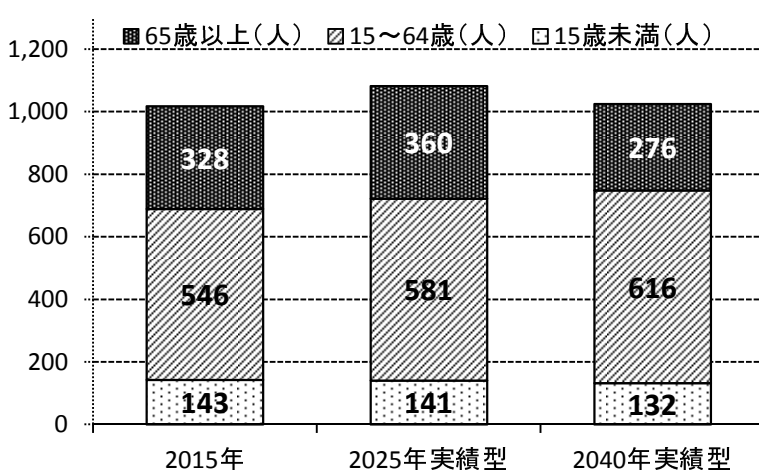
区別将来人口推計(中曽根、三日町、福与)

中曽根区の将来人口推計(2015～2040年)



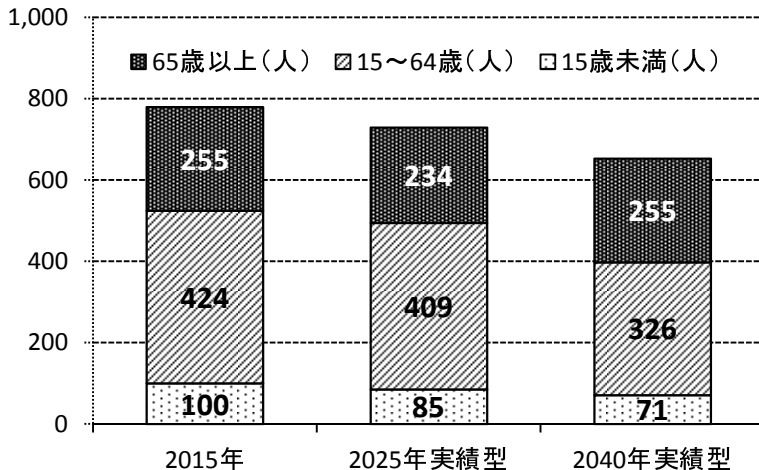
総人口 (単位:人)	
2015年	340
2025年実績型	324
2040年実績型	306
参考・2025年チャレンジ型	336
65歳以上人口割合 (単位:%)	
2015年	25.3
2025年実績型	30.2
2040年実績型	29.9
参考・2025年チャレンジ型	30.1

三日町区の将来人口推計(2015～2040年)



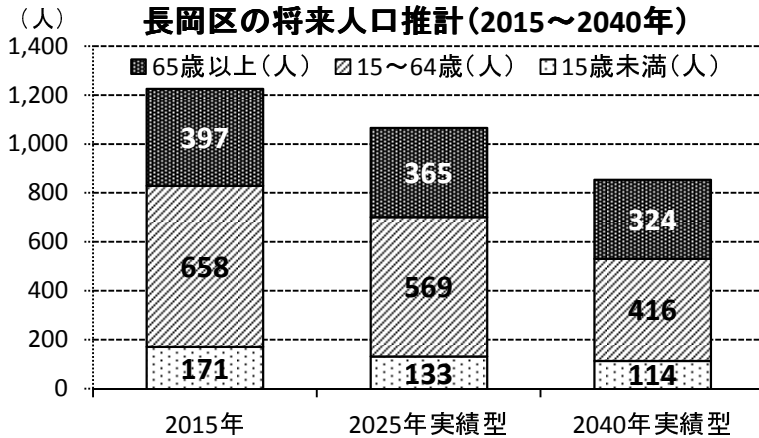
総人口 (単位:人)	
2015年	1,017
2025年実績型	1,082
2040年実績型	1,025
参考・2025年チャレンジ型	1,137
65歳以上人口割合 (単位:%)	
2015年	32.3
2025年実績型	33.3
2040年実績型	26.9
参考・2025年チャレンジ型	33.8

福与区の将来人口推計(2015～2040年)

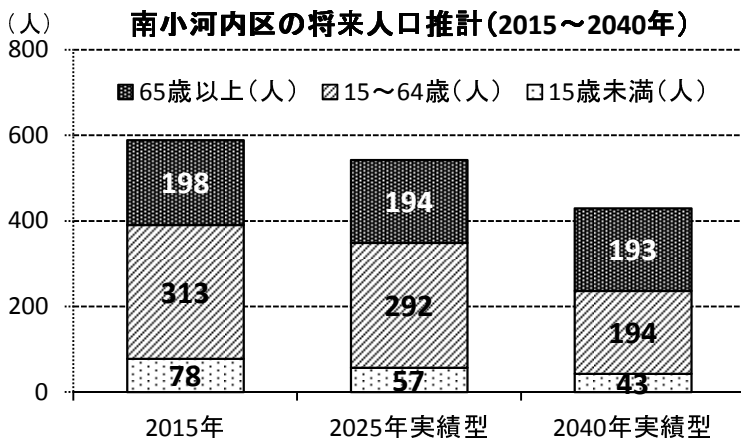


総人口 (単位:人)	
2015年	779
2025年実績型	729
2040年実績型	653
参考・2025年チャレンジ型	751
65歳以上人口割合 (単位:%)	
2015年	32.7
2025年実績型	32.1
2040年実績型	39.1
参考・2025年チャレンジ型	32.1

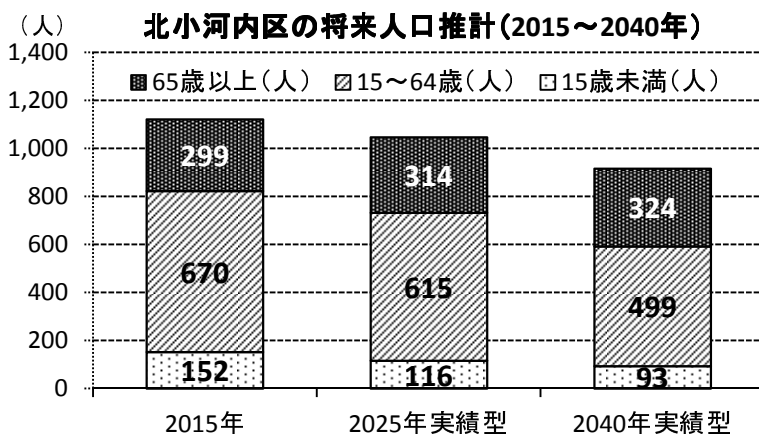
区別将来人口推計(長岡、南小河内、北小河内)



総人口		(単位:人)
2015年	1,226	
2025年実績型	1,066	
2040年実績型	855	
参考・2025年チャレンジ型	1,099	
65歳以上人口割合		(単位:%)
2015年	32.4	
2025年実績型	34.2	
2040年実績型	37.9	
参考・2025年チャレンジ型	34.0	



総人口		(単位:人)
2015年	589	
2025年実績型	542	
2040年実績型	430	
参考・2025年チャレンジ型	558	
65歳以上人口割合		(単位:%)
2015年	33.6	
2025年実績型	35.7	
2040年実績型	44.8	
参考・2025年チャレンジ型	35.8	



総人口		(単位:人)
2015年	1,122	
2025年実績型	1,046	
2040年実績型	917	
参考・2025年チャレンジ型	1,076	
65歳以上人口割合		(単位:%)
2015年	26.7	
2025年実績型	30.1	
2040年実績型	35.3	
参考・2025年チャレンジ型	29.8	

10年間の町の変化

1 コミュニティの維持(町勢要覧等)

指 標	2005年	2014年	増 減
地域総合活性化事業交付金の実施	—	67件	
自治会加入率	加入率の低下傾向		—
セーフコミュニティの認証	2012年		—
一人あたり年間ごみ排出量	202.1 kg	172.3 kg	△29.8 kg

2 少子高齢化の進行

(1) 出産・子育て(人口動態統計等)

指 標	2005年	2010年	増 減
合計特殊出生率(町)	1.55	1.48	△0.07
参考: 合計特殊出生率(郡)	1.61	1.63	+0.02
結婚件数	161件	142件	△19件
保育施設の利用児童数(未満児数)	839人(111人)	811人(151人)	△28人(+40人)

(2) 医療・福祉(人口動態統計等)

	箕輪町		長野県(参考)	
	男	女	男	女
平均余命(2010年)a	80.29	87.12	80.99	87.23
健康寿命(2010年)b	78.96	84.30	79.46	84.04
余命と健康寿命の差(a-b)	1.33	2.82	1.53	3.19

指 標	2005年	2012年	増 減
一人当たり国保医療費	112,677円	223,096円	+110,419円
三大死因の死亡者数	219人	239人	+20人
各種検診の実施人数	11,145人	11,668人	+523人
介護保険の認定者数	732人	912人	+180人
医療機関数	8施設	14施設(2011)	+6施設

3 産業

(1) 産業全般

○常住人口、昼間人口、昼夜間人口比率の上昇(国勢調査)

指 標	2005年	2010年	増 減
常住人口	26,276人	26,214人	△62人
昼間人口	25,755人	26,206人	+451人
昼夜間人口比	98.0	100.0	+2.0

○事業所数の減少【2004年:1,206件 → 2012年:1,097件】(経済センサス)

○従事者数の減少【2004年:12,684人 → 2012年:12,137人】(経済センサス)

(2) 製造業（工業統計調査）

指 標	2005 年	2012 年	増 減
事業所数	159 件	137 件	△22 件
従業者数	5,436 人	5,069 人	△367 人
製造品出荷額	164,369 百万円	152,381 百万円	△11,988 百万円

(3) 農業(町勢要覧等)

指 標	2005 年	2012 年	増 減
農家数	1,857 戸	1,738 戸	△119 戸
専門農家	156 戸	169 戸	+13 戸
第1種兼業農家	132 戸	69 戸	△63 戸
第2種兼業農家	1,569 戸	1,500 戸	△69 戸
経営耕地面積	1,070ha	926ha	△144 ha
農産物販売額推計 (規模別農家数をもとに地方 交付税の算定方式で試算)	188,475 万円	153,125 万円	△35,350 万円

(4) 卸売・小売業(経済センサス)

指 標	2009 年	2011 年	増 減
事業所数	253 件	229 件	△24 件
従事者数	1,961 人	1,745 人	△216 人

5 都市基盤(町勢要覧等)

指 標	2005 年	2014 年	増 減
道路舗装率(町道)	75.7%	77.1%	+1.4%
歩道延長	11,225m	13,198m	+1,973m
水洗化率	71.2%	80.9%	+9.7%

6 教育(町勢要覧等)

指 標	2005 年	2014 年	増 減
ひと味ちがう箕輪の子ども育成 ※保育園児のけが発生率	3.8%	2.7%	△1.1%
体育施設・文化施設の利用状況(件、人)	76,954 人	106,151 人	+29,197 人

7 行財政

(1) 職員数(定員管理調査)

指 標	2005 年	2015 年	増 減
正規職員数	256 人	206 人	△50 人

(2) 町の税収

指 標	2005 年	2008 年	2013 年
町税	31.7 億円	38.4 億円	32.8 億円

(町税: 固定資産税、個人・法人町民税、軽自動車税、たばこ税、入湯税)

(3) 町の財政

指 標	2005 年	2013 年	増 減
一般会計決算額(歳入)	88 億 6,000 万円	90 億 6,300 万円	+2 億 300 万円
一般会計決算額(歳出)	82 億 6,800 万円	85 億 4,100 万円	+2 億 7,300 万円
財政力指数	0.61	0.59	△0.02